とよま地区地域づくり計画書

平成27年度～平成31年度

「夢」と「生きがい」未来に翼（はば）たく　とよま

とよまコミュニティ運営協議会

地域づくり計画策定に参加して

とよま地区地域づくり計画策定委員会
委員長　佐々木　康　明

　とよまには、素晴らしい自然環境があります。
緑があり、里山があり、川の流れもきれいです。
　しかし、日本中には自然環境に恵まれた地域はたくさんあります。
とよまレベルの自然のある地域は珍しくないでしょう。
「自然が見たい」と思った時に連想するのは、北海道や屋久島に行くことを考えるでしょう。
　それでも、**とよま**には素晴らしい自然環境があります。
とよまには、歴史や文化がありますが、「歴史を見たい」と思って思い浮かべるのは京都や奈良、あるいは鎌倉や金沢ではないでしょうか。
　みやぎの明治村とよまも愛知県の犬山の明治村とは比べものになりません。
それでも、**とよま**には他に誇る歴史文化があります。
　とよまには、いろいろなイベント・おもてなし・習慣・人情があります。
３４０年の伝統「とよま秋祭り」、今年３０回を迎える「カッパマラソン」の経験があります。
　若い方々が「油麩丼」を全国にアピールしたり、いろんな企画もしています。
　地域づくり計画策定にあたり、私たちは、地域の課題や問題を直視し、どうすればいいのか議論し、地域の誇りや自慢をどのようにして継続し、活かしていく方法があるのかを議論してきました。
　その成果というか、一応の報告書が出来上がりました。
まだまだ、踏み込めていないことは否めませんが、**とよま**のこれからがこうなればいいなという思いは盛り込んだと思います。
　ぜひ、多くの皆様方の意見を頂戴したいと思っていますので、よろしくお願いします。
　とよまが、一人でも多く子供が産まれ！一人でも多く結婚できて！
一人でも多くこの町から離れず、仕事ができるように！一人でも多くこの町に戻って来るように！一人でも多くこの町に来るように！一人でも多くこの町が好きになるように！
　１人で、できること・１０人で、できること・１００人で、できることをみんなで考え、実践できることを願って止みません。

目　　次

第１章　とよま地区地域づくり計画

１．計画策定の背景……１
２．計 画 の 期 間……１
３．組織の名称及び区域……１
４．組 織 の 構 成……１
５．とよま地区の概要……１
（１）位置と自然条件
（２）沿　　革
（３）特　　色
（４）人口・世帯数
６．地 域 の 課 題……３
７．地域づくりの目標……３

第２章　とよま地区地域づくり計画策定委員会活動

１．策定委員会・作業部会活動経過……４
２．計画のスローガン決定……７
（１）作業部会による原案作成　……７
（２）策定委員会によるスローガンの決定……８
３．地域の魅力と自慢・地域の課題と問題点の確認と整理……８
（１）地域の確認カード　……８
（２）地域の確認カード要約　……１７
（３）地域の魅力と自慢・課題の整理　……１８

第３章　とよま地区地域づくり行動計画

１．地域づくり行動計画 の主な内容　……１９
（１）とよま！いがすとプロジェクト
（２）安らぎのまち！とよまプロジェクト
（３）わげすたず定住プロジェクト
（４）じ～じ・ば～ば・まごプロジェクト
２．地域づくり５ケ年計画……２０

第４章　とよま地区地域づくり計画策定委員会組織・規約

１．とよま地区地域づくり計画策定委員会組織……２２
２．とよま地区地域づくり計画策定委員会……２３
３．とよま地区地域づくり計画策定委員会作業部会……２４
４．とよま地区地域づくり計画策定委員会規約……２６

ま と め……２８

第１章　とよま地区地域づくり計画

１．計画策定の背景

登米市は平成２４年３月に「登米市まちづくり基本条例」を制定しました。

今、地域では、少子・高齢化が進み様々な課題を抱えており、その解決に向けて「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によってきめる」という考え方を基本としています。

私達のとよま地区は、市の方針を受け子供から高齢者等の各階層の多くの方々から地域の現状や課題、将来像等について聞き、地域のよさを生かしながら、地域住民の結び付きを深め、安心して暮らせる住みよい地域社会の実現を目指し、地域住民一人ひとりが参加し実施できる登米町らしい「とよま地区地域づくり計画」を策定します。

２．計 画 の 期 間

平成２７年度から平成３１年度までの５年間として、必要に応じて見直しを行うこととします。

３．組織の名称及び区域

⑴　名　　称　とよまコミュニティ運営協議会

⑵　区　　域　とよま地区全域

４．組 織 の 構 成

策定委員と策定作業部員は町内会や各種団体からの推薦

・計画策定委員会　　１５名

・計画策定作業部会　　５４名

５．とよま地区の概要

⑴　位置と自然条件

宮城県の北東部に位置し、東西１２㎞、南北７㎞、海抜７ .０８ｍ、東は南三陸町、西は米山地区、南は豊里地区と津山地区、北は中田地区・東和地区に接しています。

市街地の東端を北から南に北上川が貫流し、地形は東西に長く、北上川を挟んで東は山地、西は田地が開けて大崎耕土に連なり、東は北上山地から羽沢川が西流し、母なる大河北上川に合流しています。

町の東北と南面は北上山系に属する山地で、その間に登米の市街地が形成されています。

面　　積　　４５.６７㎢

人　　口　　5,０８６人

世 帯 数　　1,７９６世帯　　（２７.1.３１現在）

⑵　沿　　革

江戸時代の登米は寺池、日野渡、小島、日根牛の４か村からなっていたものを明治６年に合併し登米村となりました。

その後、明治１２年日根牛村を分離、明治２２年４月に町政を施行して再び日根牛村を合併して登米町（とよままち）となり、昭和の合併もせず１００年以上も続き、平成の大合併により平成１７年４月１日から登米市になりました。

⑶　特　　色

中世は葛西氏の城下、近世は伊達一門の居館の地で今もその名残を随所に留めています。

明治になり、登米県・水沢県の県庁所在地となり、政治・経済・文化・交通の中心地として発展しました。

江戸・明治の文化財が多く、数１００年間の歴史に裏づけられた風格が在り、落ち着いた静かな城下町の昔をしのばせて、今は「みやぎの明治村とよま」として観光地となっています。

産業は、東部に山地、西部に田地が広がり稲作、野菜、畜産を主体とした農業が経済の根幹をなしています。

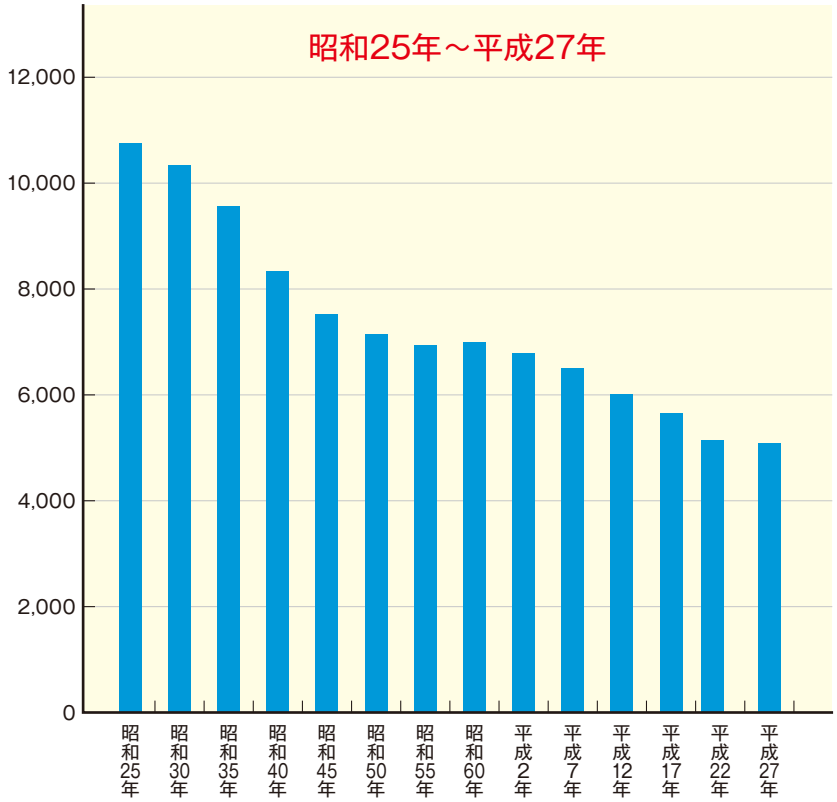
⑷　人口・世帯数

区　　分	人　　口	世　帯　数
平成１６年４月	5,９５８	1,８３８
平成２１年４月	5,４９５	1,７６６
平成２６年４月	5,１２６	1,７９６

【住民基本台帳より】

登米町人口の推移

年	人　口
昭和２５年	10,750
昭和３０年	10,350
昭和３５年	9,577
昭和４０年	8,340
昭和４５年	7,533
昭和５０年	7,159
昭和５５年	6,942
昭和６０年	6,994
平 成 ２ 年	6,782
平 成 ７ 年	6,507
平成１２年	6,024
平成１７年	5,665
平成２２年	5,144
平成２７年	5,093



6．地 域 の 課 題

とよま地区は人口の減少と少子・高齢化が進み、各地域に様々な課題が山積しており児童生徒の減少、高齢者の独り暮らし、農業や商工観光業の後継者不足、空き家の増加、子育て支援、災害時の対応と対策、町内会の行事が持てない、秋祭りに参加できない町内会等が起きています。

これらの要因を分析検討し、地域で何ができるか自分たちで決定し「自分たちの地域は自分たちで守り育てる」という地域住民主体の地域づくりをしていかなければなりません。

そこで、とよま地区地域づくり計画策定委員会を設置し短期、中期、長期と見通したとよま地区の特色ある地域づくり計画を策定します。

7．地域づくりの目標

とよまの歴史と豊かな自然を活かし、地域住民が自ら地域の将来像を考え、地域住民が結びつきを深めながら、地域のさまざまな団体と相互に連携協力し、子供から高齢者まで一人ひとりが生きがいをもって、明るく楽しく安心して生活できる地域社会の構築を目指すことを目標とする。

第２章　とよま地区地域づくり計画策定委員会活動

１．策定委員会・作業部会活動経過

年月日	項　　目	人数	備　　考
26. 4.25	とよま地区地域づくり計画策定委員の推薦依頼 ・登米小学校ＰＴＡ・登米中学校ＰＴＡ・登米町婦人会 ・ＪＡみやぎ登米女性部とよま支部・登米母子福祉会 ・みやぎ北上商工会女性部登米支部・老人クラブ連合会 ・登米地区交通安全母の会・みらい子育てネットとよま ・登米町農産加工クラブ連絡協議会・各町内会	60	10団体及び 38町内会
26. 5.20	地域づくり計画策定準備会 名称・とよま地区地域づくり計画策定委員会 （規約・組織体制・予算・役員体制）	4	委員長・副委員長・部長・副部長の選任
26. 6.22	とよま地区地域づくり計画策定委員会設置及び研修会 ・とよま地区地域づくり計画策定委員会の規約制定 ・とよま地区地域づくり計画策定委員会の組織 （文化教育部・環境防災部・健康福祉部・産業観光部） ・とよま地区地域づくり計画策定委員会予算及び役員体制 研修会「地域づくり計画」 ・登米市役所　企画部市民活動支援課 市民協働推進係　主査　後　藤　由美子　様	38	
26. 7.10	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・部会毎に計画スローガンの検討 ・作業部会開催協議 ・地域づくり計画の作業スケジュール協議 ・地域づくり計画事例研修会開催協議	24	
26. 7.15	とよま地区地域づくり計画策定委員会 地域づくり計画の進め方（ワークショップ研修） 地域づくり計画アドバイザー 特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム 理事　足　立　千佳子　様 ・健康福祉部会　今後の活動について ・文化教育部会　今後の活動について	34	

年月日	項　　目	人数	備　　考
26. 7.28	とよま地区地域づくり計画策定委員会作業部会 ・各部会毎に計画スローガンの検討 スローガンのイメージとして ①　恵まれた自然と歴史文化の町づくり ②　誇りたい町・誇りたい歴史・誇りたい自然を守りながらの町づくり ③　「心」・「自然」・「歴史」・「高齢者」・「子供」「安全安心」を包含した町づくり ・未来の子供に残すきれいな街とよま ・未来に翼たく夢と生きがいのあるとよまの町づくり ・自然と歴史と文化に彩られたロマンあふれるとよま町づくり ・伊達な心枠もてなす心が満ちる町づくり ・歴史と文化の町若者が集う町とよま ・自然と歴史と心豊かさにふれあえる町とよま ・安全安心なまちとよま　等	39	
26. 8. 5	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・計画スローガンのとりまとめ 「夢」：次世代、将来につなぐ 「生きがい」:みんなが認められて居場所がある町 **「夢」と「生きがい」未来に翼たく　とよま**	21	
26. 8.12	とよま地区地域づくり計画策定委員会事務局会議 ・アンケートに変えて地域の確認カードにより意見の集約を図るため内容の検討	7	
26. 8.28	とよま地区地域づくり計画策定委員会作業部会 ・地域の確認カード 「地域の良いところ・地域の魅力や自慢などを記入」 「地域の問題と感じていることなどを記入」	42	アンケートの代わりに地域の確認カードにより委員各位より意見の集約
26.10.14	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・地域の確認カードの整理・研修会の開催 地域づくり計画アドバイザー 特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム 理事　　足　立　千佳子　様	20	

年月日	項　　目	人数	備　　考
26.10.30	とよま地区地域づくり計画策定委員会 研修会・作業部会 ・２,０・・年、とよまは　こんな風になりました！！ ！！とよま・未来予想三大ニュース！！	36	困っていたことを出し合い、こんな風になりました
26.12. 2	とよま地区地域づくり計画策定委員会三役会 ・今後の日程及び策定委員会開催協議	5	
26.12.22	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・今後の日程及び具体的な活動の進め方	16	
27. 1. 6	とよま地区地域づくり計画策定委員会三役会 ・地域づくり計画具体的な活動の検討	7	
27. 1.31	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・地域づくり計画素案の整理 とよま地区地域づくり計画策定委員会作業部会 ・地域づくり計画素案の検討	19 33	
27. 2.27	とよま地区地域づくり計画策定委員会三役会 ・地域づくり計画の原案整理	7	計画案の整理
27. 3. 6	とよま地区地域づくり計画策定委員会 ・地域づくり計画原案の検討	20	
27. 3.28	とよま地区地域づくり計画報告会		策定委員・行政区長・町内会長

作業部会にて地域の魅力や自慢・地域の問題と感じている事を話し合いました。

・その他の会議

とよま地区地域づくり計画を進めるについて、それぞれの会議に臨むにあたり策定委員会委員長・副委員長及びコミュニティ運営協議会会長・副会長並びに事務局にて遂次打合せ会を開催いたしました。

2．計画のスローガン決定

(1)　作業部会による原案作成

・作業部会ごとにワークショップを開催し、とよまの歴史・自然・文化をイメージしながらいろいろな案が出されました。

作業部会案	・未来に翼たく　夢と生きがいのある　とよまの町づくり ・自然と歴史と文化に彩られたロマンあふれるとよま町づくり ・伊達な心粋　もてなす心が満ちる　町づくり ・歴史と文化の町　若者が集う町　とよま ・自然と歴史と心豊かさにふれあえる町　とよま ・子供から高齢者まで届ける安心安全な街 ・未来の子供に残すきれいな街　とよま

参　　考

・歴史が育むロマンあふれる　とよま町づくり
・歴史が育む「みやぎの明治村」悠久の町づくり
・「みやぎの明治村」悠久の町づくり
・自然と歴史に彩られた　未来に翼たく町づくり
・歴史に輝く文化のまち　とよま町づくり
・誇りたい歴史あふれる　とよま町づくり
・未来にあふれ健やかな暮らしと　ふれあいの町とよま
・夢にあふれ健やかな暮らし温かな心　とよま町
・人々の温かな心と　ふれあえる町とよま
・子供から高齢者まで届ける安心安全な街
・未来の子供に残すきれいな街とよま
・未来に翼たく夢と生きがいのあるとよまの町づくり
・自然と歴史と文化に彩られたロマンあふれるとよま町づくり
・伊達な心粋もてなす心が満ちる町づくり
・歴史と文化の町若者が集う町とよま
・自然と歴史と心豊かさにふれあえる町とよま

ワークショップにてとよまのイメージに合うスローガンの意見を出しあい話し合いました。

(2)　策定委員会によるスローガンの決定

・作業部会の案を基にして、全ての部会にもあてはまることと、将来に亘り次世代につながりを持ち、生きがいの居場所があることとし以下により決定する。

「　夢　」：　次世代・将来につなぐ

「生きがい」：　みんなが認められて居場所がある町

・地域づくり計画スローガン

「夢」と「生きがい」未来に翼（はば）たく　とよま

3．地域の魅力と自慢・地域の課題と問題点の確認と整理

(1)　地域の確認カード

地域づくり計画を策定するにあたり全世帯よりアンケート調査の検討も行いましたが、策定委員全員により地域の確認カードを活用し「地域の良いところ・地域の魅力や自慢など」や「地域の問題と感じていることなど」をワークショップで検討いたしました。

・以下部会毎のワークショップの内容

《健康福祉部》

地域の確認カード

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
①武家屋敷及び明治の建造物が多く伝統行事も多い • 400年余りも続く秋まつりの伝統行事が今も続いている • 歴史的建造物がある（文化財の保存） • 29回目をむかえるカッパハーフマラソンが毎年行われているが、選手、関係者を合わせると、町の人口に匹敵するくらい参集する • 山と川と文化財のある住みやすい町 • 教育資料館（旧登米高等尋常小学校）が良い • 武家屋敷及び明治の建造物がある町 • 歴史的建造物や伝統芸能が多い • 秋まつり山車で40年間参加	①少子化が進みさまざまな問題が生じている • 少子化が進んでいる • 人口減により一地区だけでは地域の行事がむずかしい • 少子化が進んでいる • 高齢化 ②若い人の働く場が少ないため若者の定住化が進まない • 独居のお年寄りが多いこと • 若者の流出・後継者不足 • 若い人たちの働く場所（会社・工場）が少ない • 高齢者同士の輪がとれないでおり、それを支える若い者の活動も不足している

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など

②山と川、自然環境が多く住みやすい

- 自然豊かで山の恵み里の恵みに恵まれていること
- 山と川と町並みの美しさ（早朝の北上川周辺は水墨画の世界）土手の端から眺める景観の美しさ
- 保呂羽城祉跡から広大な登米耕土が一望できるところ
- 東に北上川、西に田園風景、地形的に災害が少ない。
- 北上山地のふもと北上川にかかる、登米大橋の景観が良い
- 静かで住みやすい町
- 商業地ではないので比較的住みやすい町
- 自然環境に恵まれている

③地域のコミュニティ（団結力）が良い

- 町内会の行事に参加者が多い
- 小学校の校庭や駅前の花壇がいつも美しく手入れされているところ

④自然に恵まれた耕土からのめぐみ（作物）が豊富である

- 狭いところでも皆工夫して食物を作り地産地消に努めているところ
- 空気が澄み、食べ物が美味しいところ

⑤自然災害が少ない地理的に恵まれている

- 災害被害が少ない

とよまを再発見して見るといろいろ良いところが沢山ありますねぇ

地域の問題と感じていることなど

②若い人の働く場が少ないため若者の定住化が進まない

- 若者の働く職場が少ない
- 高齢化が進み各種行事がむずかしくなっている

③防災マップなど防災への対応が遅れている

- 防災マップの作成をしてほしい

④公園などやすらぎの場が少ない

- 街の中に広場とか公園のような住民のためのスペースがない
- 緑地がない
- 公園が少ない

⑤地域に根ざした健康福祉活動が少ない

- 福祉活動の効果が地域に見えにくい。
- 高齢化が進む中、団魂の世代を中心とした経験・知識・技能等を生かしながら、福祉活動に参加することが望ましい
- 地域に根ざした健康活動が低調（個人にまかされている現状があり、大きな運動となっていない）

⑥空き地・空き家が多く、即存施設等の活用が少ない

- 空き地・空き家が多いこと

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など

⑥小中高などの教育施設が充実している

- 小学校、中学校、高校がそろっている
- 小中高校生が皆元気よく挨拶をしてくれるところ
- 静かな環境で子供がのびのびしているところ
- 幼・保・小・中・高があり子育てに適した町

⑦その他

- 住む町は登米町、働く場所は他へ
- 隣人が皆周知の間柄であること
- 若い人が町へ定着するのが望ましい
- 地域にプロフェッショナル（職人）がいること
- 高齢者がいきいき生活しているところ
- 町並みが整然として、コンパクトに出来ている
- 地域内防犯・防災パトロール50年間続けている

千葉部長さんによるワークショップの発表

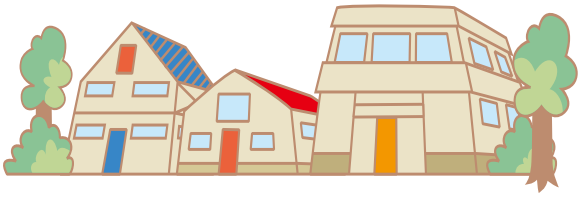
地域の問題と感じていることなど

⑦入院できる病院等がなく、緊急時の不安が多い

- 入院のできる病院がないこと
- 消防署がないこと、救急車の配備
- 病院の充実（小児科、婦人科）

⑧その他

- 行事に参加する人の顔ぶれが決まっていること
- 子供が少ない
- 大型店におされて商店街が元気がなく、他地域への依存度が高くなっていること
- 道路沿いの樹木の手入れが行き届かず危険な状態のところがある
- 里山が荒れているため、もっと自然に目を向けた里山の管理の仕組み作りが必要
- 地域住民の交流が少なくなって来ていること
- 住民の課題・問題を他力本願、他にまかせる依頼心が多いため、その責任転嫁するところがある
- 各種役員なり不足
- 最近は整備されて来ているが、住んでいない家等が荒れて来ている



《産業観光部》

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
①国の重文（旧登米高等尋常小学校）はじめ江戸・明治・大正・昭和初期の歴史を感じさせる町である • 歴史的建造物・観光資源がある • 前小路の小公園がいいと思う（ベンチがある） • 街並みがきれい • 文化財が多くある • 観光資源が沢山ある • とよまは城下町と言われている • 市内に於いて、NO.１の観光資源がある • 文化財校舎・旧登米警察署等の明治時代の建築物がある • ３７０年以上も続く、とよま秋祭り山車・囃子が保存伝承されている • ２３０年の歴史を受け継いでいる登米能、そして、薪能を演じる森舞台がある • 住んでいる人達が元気で明るい、そして人情味のある人が多いのでは • 文化面（能・神楽・俳句大会等々）がすぐれている • 体育面（伝統のある町民運動会・バスケットボール交流会・パークゴルフ等々）も活発なのでは ②北上川や里山・田園と自然環境に恵まれている • 田んぼ・森林公園等自然が豊か • 雄大な北上川 • 自然豊かで静かな町 • 自然が豊か • 自然災害がなくて良い • 静かでのんびり出来る	①観光受け入れ体制と施設の整備 • 観光案内板の設置 • 遠山之里の営業時間を長くして欲しい • 観光客の積極的な誘致 • 農業の特産品が無い（特に冬場） • 喫茶店等休み所が少ない • とよまをもっと宣伝するべき • 観光資源の集約 • 観光施設等の整備・堀を作り、きれいな水を流し魚が泳いでいる、そして桜が咲き柳があり、ある意味角館の小型化 • 観光物産センターの大型化（地場産品の販売拡大、年を通して山車を２～３台展示し、登米囃子を流して観光客を迎える） ②伝統芸能の伝承と山車会館の建設 • 山車を年中見せられるようにしたい • 秋まつりの山車を残す方向にしてもらいたい • 秋祭りの時に、とよまらしい弁当を出したら良いのでは ③グリーンツーリズムとフットパスの拡充 • グリーンツーリズムとは 都市生活者が農村・漁村などに滞在して余暇をのんびり過ごすこと • フットパスとは イギリスで発祥した「歩くことを楽しむための道」 • 体験型の観光 • 体験型の観光施設

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
②北上川や里山・田園と自然環境に恵まれている • 雄大な母なる川（北上川）が、町の真ん中を悠々と流れ、すばらしい景観がある ③秋祭りや四季を通じて楽しめる祭事がある • 伝統薪能 • 子供達がいるので、お祭りにも参加出来る事はいいことだと思う • 伝統的なイベントが多い ④その他 • 米が美味しい登米耕土がある • 旨いものがある • 評判のうなぎ屋が２軒ある • 観光地のトイレがきれい • 礼儀が正しく言葉使いが良い • 三陸自動車道のインターがある • 農産物を望む消費者が多い様で農家の皆さんの出店も大歓迎、自慢の産物を持ち寄りしている	④その他 • 空き地の垣根、雑草が伸び荒れている • 日根牛の土手の桜の木の枝が枯れて、風の強い時等枝が落ちそうです • 仕事が忙しいのか、ボランティア精神が薄い • 新しい事に挑戦したがらない（時代を重んじる） • 企業が少ない • 交通の便が悪い（橋が一つしかない） 産業観光部の皆さん

《文化教育部》

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
①北上川が流れていて自然に恵まれている • 北上川の景色は自慢できる • 自然が豊か • 雄大な北上川が流れている ②街がコンパクトなので目配りができる • 登米町はH.17まで合併しないで120年余単独で生きてきた 登米市内町域では見られない絆や地域の輪がある	①地域の子供たちや若者が少ない • 行事の参加が少ない • 子供の数が少なく、ＰＴＡ行事、地域の行事等にも支障が出ている • 少子化が進んでいる ②９年間単独の小中学校なので他の地域との交流が苦手 ③地震で町並みがぼろぼろになった • 空き地・空き家が多い

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
②街がコンパクトなので目配りができる • 登米市内でも“とよま”は事件・事故が少なく環境がよい • 街 コンパクトで住みよい ③歴史的建造物が多くとよま町の誇り • 伝統的建造物始め、秋まつりや薪能など歴史、文化は登米市内でも特有の地域性がある • 文化財がある • 伝統芸能伝承館 森舞台 • 教育資料館 旧登米高等尋常小学校 • 水沢県庁 • 警察資料館 • 銀行・郵便局なども地域づくりに協力的 ④藩政時代からの歴史がある • とよま秋祭りがあるので地域の流れが盛んである • 伝統のある行事が多い ⑤その他 • 道路整備が進み石巻市まで通勤可 • 地域に家族がふえて来ている • 地域の世代同士のまとまりがいいこと • 地域（町内会）のつながりが強い • 子どもたちが素直 • 登米市の観光拠点として一定の役割を果たしている • 協力体制が整う • 子供達の挨拶がよい • 地場産材が多くある • 郵便局がある • 子供達のあいさつができている • 金融機関が多い	④町内会全体に高齢者が多くなった • 保守的なところがある • 老人世帯の増加 ⑤その他 • 車やバイクのナンバープレートを仮面ライダーや009のナンバーにできないか • ペットのマナー（のら猫が多い） • 働く場所が少ない • 行事が重複している • 児童公園を作ってもらいたい • 仮面ライダーや009のナンバープレートをつくってほしい • 日根牛地区 防犯灯がない • 花火大会の再興 • 道路の段差 • 登米インターまでの道路（専用線）に街灯（水銀灯）をつけてもらいたい • ペットのマナー • どの地域（地区）も限界集落になっている（なってきている） • 居住環境が地区全体の中で不満を持つ世帯が増えている（ペットのマナーが悪い、のら猫対策など） • 登米ＩＣ⇔登米市街地までの間が暗い • 電灯の色が水銀で暗く、津山は明るい気持ち • 日根牛地区 電灯の件 • 除雪体制の確立 • 登米町中の空家対策など • インターから登米までの照明 • 道路照明の増設 • 公園・緑地がない

河内部長さんによるワークショップの発表

文化教育部の皆さん

《環境防災部》

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
①自然環境が良好 • 北上川右岸、土手などから見る景観は素晴らしいものがある • 山、里山、河岸など全体的に多様な生命が存在し、生物多様性を感じさせる • 静かな町で、すぐ側には北上川 • 夜は静寂 • 星が年中綺麗に見える（空気が澄んでいる） • 日根牛地区羽沢川の渓流、何とも言えない心地良さです これを開発して渓流公園等にして行くと言う考えも良いかと思う • 誰もが穏やかな気持ちになれそうな町（心の故郷） • 羽沢川清流を戻したい 	①防災マップの作成 • 地域内に在るAEDの設置場所が判らない（マップ等必要） • 有事の際の避難経路マップが整備されているのか、あれば公開掲示を ②一人暮し世帯の対応 • 一人ぐらしの高齢者の対策 • 一人暮らし高齢者が多くなって来ている（認知症の一人暮らし） • 冬場雪を融かすため道の真ん中に雪を出すのは止めて欲しい • 高齢者のひとり暮らしの大変な事は大雪で雪の掻き方・家は坂なのでとても一人で大変です 又、大雨の時は、木の枝等が家の周りに飛んで来てとても大変です

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
①自然環境が良好 • 自然が豊かである • 町並みと自然が調和されていて静かに生活できるところ • 豊かな耕土、美しい自然に恵まれた環境調和のとれた町として発展しています ②歴史文化の伝統行事の充実 • 地域に昔からの呼称が使われ、歴史を感じる（鉄山・舟橋等） • すばらしい秋祭りがある • 歴史的な建物や文化が多く静かな観光地としてすばらしいところ • 歴史の町（文化財校舎・水沢県庁） • カッパハーフマラソンのイベントでの人の出入りの賑わい • 秋の大祭（伝統のある山車を多くの人に見て貰いたい） ③地域の協働力 • 色んな職種の方が住んでおり、作業協力をしてくれる • 路肩の刈払い • 防災線維持管理の共同作業 • 知恵を出し合い前進しています。 • コミュニティがそれぞれの行事で行っている、イベント、町内会がそれぞれ一つとなり賑わう（例・日根牛コミュニティの行事の一貫として部落対抗のバレー大会） • 河川清掃を積極的に作業協力している • 災害などあった時に部落の人が集まり協力し合いまとまりのあるところ	③空き地・空き家対策 • 空き家が多い • 若い人達が仕事の関係で空き家となり町を歩いて危ないところがある ④地域環境の整備 • ゴミ出しのルールを守らない（可燃ゴミ・リサイクル・他の地域に出す） ⑤その他 • 夜、桜沢に行く通りが暗い（用水堀のフェンスがあるが、怖い所） • 子供達の遊び場がない（公園がない・遊具のある場所がない・外で遊ぶ場所がない） • 「ゾーン３０」が指定区の一部通行禁止 （抜け道禁止） • 歩道に専用の柵があると良い 更なる、歩行者用道路の確保を • 不要不急の舗装は不必要(特に山間・農地) • 車の交通量が多くなり、事故が心配 • 木が生い茂りアメリカヒロシトリ害虫が多い • 会議・会合に人が集まらない • せっかくの観光地なのに中途半端なところがある たとえば町並みがみやぎの明治村としては不十分 • 農産店の観光地らしくない • 鉄砲町通りの見通しが良いため、スピードを出す車が多い • 自主防災訓練を実施しても地域の人の参加が少なすぎる • 若い後継者が少ない

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など

④その他

- 近くに多くの様々な機関があり用事がすむ
- 「ゾーン３０」が指定されている
- 各機関（公的・私的）が揃っている（医院・診療所・JA・給油所・銀行・郵便局・学校・幼稚園・高校・スーパー）
- 市東部における、交通の要所になりつつある
- 防災巡回夜警を何十年もやっていること
- 各町内会での清掃作業が行われている
- 交通量が少ないので安全安心
- 事故・犯罪がない

地域づくり計画アドバイザー
足立先生による助言指導

地域の問題と感じていることなど

⑤その他

- 町内会の内２軒位ものすごいゴミ屋敷が有ります。もし、火災でも発生したら人命にも関わり近隣の民家にも関わり近隣の民家にも延焼する事になります
すぐ近くには市の保育所があり、大変な惨事が想定されます
何とかならないのでしょうか
- 空き地が多く全体に暗い
- 道路わきへ粗大ゴミの不法投棄
- 農業関係も従事者が高齢で維持できない所が多い
- 屋外競技する環境が悪い
- 経済的な活気が感じられない、静か
- 入谷 河川沿いでゴミが増えている
- 全戸が携帯電話を利活用出来る難聴地域解消（羽沢、北沢）
- 採石場の粉塵問題
- 中間処分場施設のダンプ等の走行問題
- 県道志津川登米線の路盤破壊、路面汚染
- 働く場所がない
- 個人情報→地域で共有する（高齢者）
- 防犯灯が無い
- 地域の問題として感じている
- 働く場所がない、雇用の場所がほしい
- 山林に冷蔵庫等が投げ捨てられている
- 近所付合いが少ない
- 近くの土手にゴミを投げ捨ててある
- 側道の草刈がなし
- 無関心が多い
- 職員のお客様による応対など

地域の良いところ・地域の魅力や自慢など	地域の問題と感じていることなど
 高橋部長さんによるワークショップの発表 	⑤その他 • 秋まつりのパレード参加者が少ない（子供、若い嫁が参加しない） • 明日の町づくりのために皆様方の建設的（物事に前向きに取り組んで行こう） • 何事も今後のますます町民の皆様の積極的な参加ご協力をいただき実にいきいきとした町をつくる • 日根牛地区は遊水地と感じています今後も小川堤防の補強、点検等さらに充実してほしいです。（工業用水で以前より水位上昇されている） ***とよまの魅力や自慢は何でしょうか…！***

(2)　地域の確認カード要約

各部会毎の地域の確認カードを整理し、以下により要約いたしました。

地域の魅力と・自慢	地域の課題・問題
北上川・里山・田園と自然環境が良い 歴史的建造物が多い 歴史文化が感じられる伝統がある 地域の協働力 コンパクトな街 カッパマラソンなどイベントの開催	少子化・高齢化 防災マップ（ＡＥＤ設置場所）の整備 就労の場がなく若者が少ない 懐古館・山車会館の整備 空き地・空き家が多い 公園緑地が少ない とよまを代表する食文化がない 独自の健康福祉活動がない

(3)　地域の魅力と自慢・課題の整理

地域の確認カードから地域の魅力と自慢・地域の課題と問題点を基にして、とよまの地域づくり計画を策定するにあたり四大プロジェクトを決定する。

地域づくりプロジェクト

「夢」と「生きがい」未来に翼（はば）たく　とよま

1　とよま！いがすと

◎観光資源の情報発信
◎新しい食文化の取組
◎グリーンツーリズム
　フットパスの推進
◎地域マップづくり
◎観光施設の整備

- 観光案内板の設置
- 地産地消の促進
- 地場産品朝市の開催
- 街並み景観の保護
- 公園緑地の整備
- グリーンツーリズム
  フットパスの推進
- 山 車 会 館
- 懐古館整備

2　安らぎのまち！とよま

◎災害マップづくり
　ＡＥＤ設置場所明示
◎清掃活動の推進
◎自然環境保全の推進
◎安全安心の地域づくり
◎高齢者一人一人の
　ケア推進

- 災害マップの作成
- 行政区の清掃活動実施
- 災害避難マニュアル作成
- 高齢者見守り活動
- 環境パトロールの充実
- 北上川の景観保全活動
- 防犯・交通安全
  対策の充実

3　とよま！わげすたず定住

◎伝統芸能の継承
◎空き家活用の推進
　（U.J.Ｉターン）
◎若者交流の推進
◎イベントの集客増
◎町中公園づくり

- 郷土芸能の継承
- 郷土芸能の体験学習
- 秋祭り応援隊づくり
- 空き家再生
- ベットタウン推進
- 遊び場（公園）整備
- カッパマラソン
- 秋祭りの充実

4　とよま！じ～じ・ば～ば・まご

◎世代間交流の推進
◎高齢者生きがいづくり
◎イキイキ健康づくり
◎スポーツ活動の推進
◎安心できる医療体制
◎子育て支援
◎老いの空間拡充

- 世代間交流事業の推進
- 健康推進事業の推進
- 交流スポーツ大会の実施
- 名人達人バンクの創設
- 行政区・団体等の
  健康グループ養成
- 運動スポーツの日常化
- 医療充実の要望活動
- 高齢者自立支援

第３章　とよま地区地域づくり行動計画

１．地域づくり行動計画の主な内容

⑴　とよま！いがすとプロジェクト（とよまの魅力再発見）

・観光資源の情報発信
・新しい食文化の取組
・グリーンツーリズム・フットパスの推進
・地域マップづくり
・観光施設の整備

⑵　安らぎのまち！とよまプロジェクト（安心安全な町づくり）

・災害マップの整備
・清掃活動の推進
・自然環境保全の推進
・安心安全の地域づくり
・高齢者一人ひとりのケアの推進

⑶　わげすたず定住プロジェクト（とよまの魅力発信）

・伝統芸能の継承
・若者交流の推進
・空き家活用の推進（Uターン・Jターン・Iターンの推進）
・町中公園づくり
・イベントによる集客対策

⑷　じ～じ・ば～ば・まごプロジェクト（三世代！やすらぎの町づくり）

・世代間交流の推進
・高齢者の生きがいづくり
・いきいき健康づくり
・スポーツ活動の推進
・安心できる医療体制の推進
・老いも若きもやすらぐ空間の拡充
・子育て支援

２．地域づくり５ケ年計画

とよま！いがすと プロジェクト　～とよまの魅力再発見～

内　　容	主な活動	具体的に	時期			関係機関との連携
			1～2年	3～5年	それ以降	
観光資源の情報発信	街並み景観の保護活動と活用 ネットを活用して観光情報発信	伝統的建造物群保存地区の推進 蔵・町屋敷の公開、歴史探訪 観光ガイドの養成	○	○		住民・行政
新しい食文化の取組	地域産品の開発 名産品づくり・地場産品づくり	とよま料理コンテスト 地産地消・朝市の開設	○			商工会・ＪＡ・公民館
グリーンツーリズム フットパスの推進	受け入れの整備と拡充 登米フットパスクラブと連携	受け入れ先の募集と体験活動の促進 フットパス・ワークショップ開催	○			推進団体
地域マップづくり	観光案内板の整備	統一された観光案内板の整備 とよま全域マップ作成		○		観物協・振興公社・行政
観光施設の整備	山車会館・懐古館の整備	建設に向け関係機関への要望継続	○	○	○	行政

※グリーンツーリズム……農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動
※フットパス……イギリスで発祥した「歩くことを楽しむための道」
※ワークショップ……多様な人たちが主体的に参加し、チームの相互作用を通じて新しい創造と学習を生み出す場

安らぎのまち！とよま プロジェクト　～安心安全の町づくり～

内　　容	主な活動	具体的に	時期			関係機関との連携
			1～2年	3～5年	それ以降	
防災マップの整備 （ＡＥＤ設置場所 明示）	自主防災会のマップ作成実現	各町内会自主防災マップづくり 町内会連絡や防犯掲示板の設置	○			自主防災会・消防・行政
清掃活動の推進	町内会毎の清掃活動の推進	月１回清掃活動の実施	○			行政区
自然環境保全の推進	ゴミの不法投棄の防止 環境美化活動の推進 北上川の環境保全活動	環境パトロールの実施 花いっぱい活動の実施 水辺の環境保全活動	○			カッパの会 環境美化奉仕団
安心安全な地域づくりの推進	防犯・交通安全対策の充実	児童の登下校の見守り隊 通学路の安全点検隊 独居住老人・老人世帯マップの作成 独居老人宅への声掛け、散歩、買物援助隊の実施	○			防犯協会・安全協会

とよま！わげすたず定住 プロジェクト　～とよまの魅力発信～

内容	主な活動	具体的に	時期			関係機関との連携
			1～2年	3～5年	それ以降	
伝統芸能の継承	秋祭りの応援隊づくり 郷土芸能の体験型学習	とよま囃子応援隊の設置 山車の製作応援隊の設置 参加型お祭り（法被・手ぬぐいの貸し出し・山車引き体験）実施 神楽・能・とよま囃子の体験教室の実施 ふるさと学習（凧づくり）実施	○	○		各家庭 小中学校 山車出場町内会
若者交流の推進	他の地域との若者交流の促進	秋祭りに若者招待事業の実施 森林公園での野外活動や音楽会の交流会の実施	○			行政・商工会・住民
Ｉターン・Ｊターン Ｕターンの推進	空き家再生・ベットタウン推進	空き家・空き地の利用活用の推進		○		地主・行政区・行政
町中公園づくり	公園緑地の整備推進	遊び場や遊園地の整備		○		住民・行政
イベントによる交流 人口の増加	来町者との交流事業	秋祭り・凧あげ大会・芭蕉祭俳句大会・文化祭 カッパマラソン・盆踊り大会等の実施	○			住民・行政・保存会

じ～じ・ば～ば・まご プロジェクト　～三世代！安らぎの町づくり～

内容	主な活動	具体的に	時期			関係機関との連携
			1～2年	3～5年	それ以降	
世代間交流の推進	世代間交流スポーツ大会等の実施	とよま地区体育大会・とよま地区グラウンドゴルフ大会・ウォーキング大会	○			蔵っこ・体協・公民館
高齢者の生きがいづくりの充実	高齢者の人材活用 名人達人バンクの創設 趣味や教養の充実	技能講習会（剪定・障子張り・襖張り）の実施 人材バンクの登録と派遣事業 趣味の教室・教養講座の開設	○			シルバー人材センター 地域包括支援センター
いきいき健康づくりの推進	行政区・団体等の健康グループの養成	健康づくりプログラムの作成とグループづくり事業の開設		○		社会福祉協議会 総合支所
スポーツ活動の推進	スポーツ運動の日常化の推進	週１回以上の運動スポーツ事業・軽スポーツ奨励	○			蔵っこ・体協・スポ少
子育て支援の充実	子どもを持つ親の支援の充実	子どもを持つ親の相談会及び交流事業	○	○	○	行政
安心できる医療体制	関係団体と連携して要望活動	医療体制の充実	○	○	○	行政・医療機関
老いも若きもやすらぐ空間の拡充	高齢者自立の支援	元気な高齢者が、少人数の気の合う仲間と老後を一緒に暮らす環境支援	○	○	○	行政 地域包括支援センター

第４章　とよま地区地域づくり計画策定委員会組織・規約

１．とよま地区地域づくり計画策定委員会組織

地域づくり計画の策定を進めるにあたり、多くの委員の意見を出しあう場と、本計画に盛り込む内容の検討を行うため４つの専門部会の設置（作業部会）と、更に、地域づくり計画の最終確認と決定（策定委員会）として、以下の組織を設置いたしました。

とよま地区地域づくり計画策定委員会（15名）　―　**とよまコミュニティ運営協議会**

委　員　長	１名
副 委 員 長	２名
各 部 部 長	４名
各部副部長	８名

とよま地区地域づくり計画策定作業部会（54名）

各 部 部 長	４名
各部副部長	８名
各 部 部 員	４２名

健康福祉部	産業観光部	文化教育部	環境防災部
各 部 部 長　１名	各 部 部 長　１名	各 部 部 長　１名	各 部 部 長　１名
各部副部長　２名	各部副部長　２名	各部副部長　２名	各部副部長　２名
各 部 部 員　１０名	各 部 部 員　１０名	各 部 部 員　１０名	各 部 部 員　１２名
↓	↓	↓	↓
誰もが安心に暮らせる町づくり	地域産業の発展と文化の伝承	にぎわいと活力あるゆたかな町づくり	安心して住めるゆたかな町づくり

※各部会のテーマは設立時の仮称のため、計画策定後とは相違があります。

2．とよま地区地域づくり計画策定委員会

H26．6．22 現在

No.	職名	氏名	備考
1	委員長	佐々木 康明	
2	副委員長	高橋 保男	
3	〃	佐々木 ちゑ子	
4	健康福祉部 部長	千葉 勝博	
5	健康福祉部 副部長	伊達 康子	
6	〃	及川 潔	
7	産業観光部 部長	田邊 治通	
8	産業観光部 副部長	菊地 清幸	
9	〃	熊谷 志和子	
10	文化教育部 部長	河内 安雄	
11	文化教育部 副部長	千葉 周二	
12	〃	高橋 敬	
13	環境防災部 部長	高橋 勝義	
14	環境防災部 副部長	佐藤 和代	
15	〃	竹内 哲夫	
市民活動支援課			
1	市民協働推進係	後藤 由美子	
とめ市民活動プラザ（特定非営利活動法人 とめ市民活動フォーラム）			
1	スタッフ	工藤 美保	
登米総合支所			
1	市民課・課長補佐	及川 道弥	
2	市民課・主査	千葉 牧恵	
地域づくり計画アドバイザー			
1	特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム 理事 足立 千佳子		
とよまコミュニティ運営協議会			
1	会長	須藤 勝利	
2	副会長	阿部 さち子	
3	〃	横澤 健二	
登米公民館（事務局）			
1	館長	佐々木 照雄	
2	事務職員	永澤 莉沙	
3	〃	木村 ルミ	

３．とよま地区地域づくり計画策定委員会作業部会

《健康福祉部部員》

H26．6．22 現在

No.	職　　名	氏　　名	備　　考
1	健康福祉部　部長	千葉　勝博	岡谷地町内会
2	健康福祉部　副部長	伊達　康子	館山町内会
3	〃	及川　潔	老人クラブ連合会
4	部員	椋沢　丈子	〃
5	〃	阿部　俊子	登米母子福祉会
6	〃	桑原　和子	〃
7	〃	本間　正子	登米町婦人会
8	〃	佐々木　きよ子	〃
9	〃	吉田　正雄	前小路町内会
10	〃	梁川　良雄	後小路町内会
11	〃	中村　好伸	下町町内会
12	〃	末永　正義	前舟橋町内会
13	〃	跡部　哲也	後舟橋町内会

《産業観光部部員》

H26．6．22 現在

No.	職　　名	氏　　名	備　　考
1	産業観光部　部長	田邊　治通	荒町町内会
2	産業観光部　副部長	菊地　清幸	駅前町内会
3	〃	熊谷　志和子	ＪＡみやぎ登米女性部とよま支部
4	部員	小野　文子	〃
5	〃	工藤　幸子	登米町農産加工クラブ連合会
6	〃	今野　富久子	〃
7	〃	米谷　つよ子	みやぎ北上商工会女性部登米支部
8	〃	高橋　とく子	新町町内会
9	〃	米谷　かつえ	我津郷町内会
10	〃	四釜　功	八丁田町内会
11	〃	菅原　善市	金沢山町内会
12	〃	伊藤　哲朗	鉄西町内会
13	〃	松岡　文彦	鉄東町内会

《文化教育部部員》

H26. 6. 22 現在

No.	職　　名	氏　　名	備　　考
1	文化教育部　部長	河内安雄	遠見台町内会
2	文化教育部　副部長	千葉周二	北沢町内会
3	〃	高橋　敬	みらい子育てネットとよま
4	部　員	高橋浩昭	登米小学校ＰＴＡ
5	〃	佐々木晶子	〃
6	〃	菅野忠美	登米中学校ＰＴＡ
7	〃	菅原　健	〃
8	〃	佐々木恵美	みらい子育てネットとよま
9	〃	吉成慶治	金谷町内会
10	〃	菅原光男	下り松町内会
11	〃	半田広太郎	中町町内会
12	〃	中野清茂	三日町町内会
13	〃	和田祥一	上館町内会

《環境防災部部員》

H26. 6. 22 現在

No.	職　　名	氏　　名	備　　考
1	環境防災部　部長	高橋勝義	東針田町内会
2	環境防災部　副部長	佐藤和代	登米地区交通安全母の会
3	〃	竹内哲夫	蛭沢町内会
4	部　員	畠山典子	登米地区交通安全母の会
5	〃	西條正典	鉄山町内会
6	〃	尾形桂一	日野渡町内会
7	〃	嶋　幸男	辺室山町内会
8	〃	佐久田高行	大谷地町内会
9	〃	後藤欣作	小島町内会
10	〃	清野洋一	西針田町内会
11	〃	佐々木勇幸	宿小川町内会
12	〃	菊地正輝	中通町内会
13	〃	金田庄七	峯畑町内会
14	〃	芳賀洋介	入谷町内会
15	〃	佐藤　実	羽沢町内会

４．とよま地区地域づくり計画策定委員会規約

（名　称）

第１条　本会は、とよま地区地域づくり計画策定委員会（以下「委員会」という。）という。

（事務所）

第２条　委員会の事務所は、登米市登米公民館に置く。

（目　的）

第３条　委員会は、登米市協働のまちづくり指針の推進方策に基づき、地域住民が自ら地域の将来像を考え、地域住民が結びつきを深めながら、安心して暮らせる住み良い地域づくりを実現するため、とよま地区地域づくり計画を策定することを目的とする。

（事　業）

第４条　委員会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

（１）地域の地域づくり計画の策定

（２）その他目的を達成するための事業

（役　員）

第５条　委員会に次の役員をおく。

委 員 長	１名
副委員長	２名
部　　長	４名
副 部 長	８名
部　　員	４５名以内

（役員の任務）

第６条　役員の任務は、次のとおりとする。

（１）委員長は、本会を代表し会務を統括する。

（２）副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その職務を代理する。

（３）部長は、部を代表し部を統括する。

（４）副部長は、部長を補佐し、部長に事故ある時はその職務を代理する。

（役員の任期）

第７条　役員の任期は、計画が策定されるまでとする。

（作業部会）

第８条　委員会に、第３条の目的を達成するため、以下の部を設置する。

（１）健康福祉部

（２）産業観光部

（３）文化教育部

（４）環境防災部

（その他）

第９条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は委員長が委員会に諮り、別に定める。

附則

この規約は、平成２６年６月２２日より施行する。

ま　と　め

登米市は平成２４年に「登米市まちづくり基本条例」が制定されました。

「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によって決める」という考え方を基本としています。

そこで、とよま地区は市の方針を受け「とよま地区地域づくり計画」の策定に向け計画策定委員会を設置いたしました。

各町内会や関係団体から推薦を受けた６３名の方々に委員をお願いし、策定に取り組んでいただきました。

各世代の特に若い方々に多く参加していただく為、夜の会議になってしまいご苦労をおかけいたしました。

このような中で、会議では少子高齢化の進む、とよま地区の現状や課題の洗い出しを行い、それを分析検討を加え、とよま地区のよさを活かした短期・中期・長期と先を見据えた計画を策定していただきました。

とよまの歴史と豊かな自然を活かした、子どもから高齢者まで、一人ひとりが生きがいを持って、明るく安心して生活できる地域社会の構築を目指します。

スローガン『「夢」と「生きがい」未来に翼たく　とよま』実現のために、地域住民の総意、総力を結集していきたいと考えております。

ここに、「とよま地区地域づくり計画」の策定にあたり、ご協力をいただきました地区住民各位、ご指導いただきました企画部市民活動支援課担当の方々、とめ市民活動プラザ担当の方々、登米総合支所市民課の方々、そして特定非営利活動法人・まちづくり政策フォーラム理事足立千佳子先生のおかげで、立派な地域づくり行動計画書を作成することができました。厚くお礼を申し上げます。

終わりに、地域づくり行動計画書の作成に参画していただきました委員の方々に対して、心からの感謝を申し上げ厚くお礼を申し上げましてまとめといたします。

平成２７年３月

とよまコミュニティ運営協議会

会　長　　須　藤　勝　利

とよま地区地域づくり計画書

発　行：平成２７年３月

発行者：とよまコミュニティ運営協議会
宮城県登米市登米町寺池目子待井391

制　作：とよま地区地域づくり計画策定委員会

教育資料館［国指定重要文化財］（旧登米高等尋常小学校校舎）

水沢県庁記念館

警察資料館［県指定文化財］（旧登米警察署庁舎）

覚乗寺高台院霊屋［県指定重要文化財］（天山公廟）

髙倉勝子美術館

伝統芸能伝承館 森舞台